

# 令和3年度以降の花火大会継続は



備前島久仁子



町長

実行委員会で検討していく

**質問** 花火大会の継続等、町長の公約実現に向けた取り組みは。

**答弁** 町長 令和2年度の花火大会は、東京オリンピック開催に伴い警備員の確保が難しく休止する。令和3年度以降については、花火大会実行委員会や関係団体等とも協議し、検討していく考えである。

高崎玉村スマートインター

チェンジ北側の産業団地には、雇用の創出、地域経済活性化の期待できる企業を積極的に誘致



町との連携が期待される

していきたい。

また、群馬県立女子大学と住民とで「小さな映画上映会」を開こうと活動が行われていることから、コミュニティ活動の推進及び文化活動の拠点となるように、活動を支援していく考えである。

## 町長選挙の過去最低投票率の要因は

**質問** 1月の町長選挙の投票率は、過去最低の42・2%であり、町民の政治への関心の低さが伺えるが、町長の考えは。

**答弁** 町長 低投票率となった要因は、今回の選挙には町を二分するような大きな争点

がなかったことが一つ。もう一つは主権者意識の欠如にあると考える。民主主義の基本は、一人一人が主権者となり、社会の意思決定に当事者意識と責任を持つことであり、それには子供の頃から主権者教育が必要だと考える。

町長としてできることは、魅力あるまちづくりを積極的に推進し、町政に関心を持ってもらうとともに、主権者として参画する意識を醸成していくことだと考えている。

## 環境対策へさらなる取り組みを

**質問** 町も、食品ロスやプラスチックごみを可能な限りなくす努力を。

**答弁** 町長 食品ロス削減は、流通小売業や飲食店等に向けて食品ロスゼロへの協力を仰ぐほか、消費者にも「もったいない」を生活の中で意識付けしてもらえよう、情報発信を続けていく。プラスチックごみ削減についても、できることから取り組んでいきたい。

## こんな質問もしています

・令和2年度施政方針について  
・役場周辺地区高度利用計画の見直しについて

# 町長選挙の公約を守れ



浅見武志



町長

実行委員会・関係団体等と協議する

**質問** 町民は、石川町長に今後4年間の町政運営を委ねたわけであり、その期待は絶大であると思う。町民に約束した選挙公約である花火大会の継続を今後どのように行っていくのか。

**答弁** 町長 令和2年度の花火大会は、東京オリンピックと同時期となることから、警備員の確保が困難な状況であり、安全面を考慮し休止することになった。3年度以降の花火大会は開催したいと考えているが、2年度の休止状況、町の財政状況を踏まえ検討していく考えである。



花火大会の継続を望む

**質問** 休止してしまうと募金が集まらなくなったり、協力が減り、実施が厳しくなる。平成元年にふるさとまつりを盛り上げるための前夜祭として始まった。規模が小さくなくても継続するべきだ。

**答弁** 町長 花火大会実行委員会での検討の中で令和2年度の実施は難しいという結論となった。実行委員会において今年1年しっかりと協議し、適切な方向に持っていきたい。

**質問** ふるさとまつり継続についてはどうか。

**答弁** 町長 上下新田地区の祇園祭は東京オリンピックの開催時期を避け、7月4日・5日で調整を進めており、ふるさとまつりも同時開催を予定している。令和

3年度にはふるさとまつりと祇園祭は完全分離となる。その後のふるさとまつりをどのようにしていくのかの詳細は未定だが、今後、ふるさとまつり実行委員会及び関係団体等から意見を聞きながら協議していく考えである。

**質問** 公約に掲げた給食費無償化に対する町長の考えは。

**答弁** 町長 給食費の無償化推進の根底となるのが、全国共通の課題である少子化の問題であり、その要因として、若者の非正規雇用などの不安定な雇用による将来への生活設計の見通しが立ちにくいこと、子育てや教育に係る負担の大きさはないかと考えている。それらを軽減する一つとして、食育の一環でもある給食費の無償化推進を進めたいと考えた。

## こんな質問もしています

・公約実現のための財源について